

第5学年1組 社会科授業案

授業者 村田 匡史

1 日 時 平成20年10月28日(火) 第5時限

2 単 元 羽根井サミット ～日本の農業の未来を考えよう～

3 単元の目標

- ① 注目されているさまざまな食糧問題について、関心をもち、進んで調べようとすることができる。
(関心・意欲・態度)
- ② 我が国の食料生産が外国に依存していることについて考え、これからの食料生産を多面的に考えることができる。
(思考・判断)
- ③ 食料生産をめぐる諸問題について自分のテーマに沿った必要な情報をグラフ、資料、表などから読み取ることができる。
(技能・表現)
- ④ 我が国の食糧生産には、就業者の減少や食の安全性などさまざまな問題があることを知ることができる。
(知識・理解)

4 単元の構想

(1) 身につけたい力と教材

・児童観

本学級の児童は好奇心が旺盛であり、前向きな姿勢で授業に取り組んでおり、意欲的に自分の考えを述べることや疑問に感じたことを粘り強く調べることができる児童が多い。5年生になり、社会の「水産業」の授業では、グループごとテーマを決め、協力して調べ学習をおこない、教科書や資料集などから表やグラフの内容を読み取ることができるようになってきた。また、その発表も劇を取り入れたり、ニュース形式で説明したりするなど、調べたことを分かりやすく伝えることができる。しかし、授業を終えた後のまとめの新聞を読むと調べたことの羅列だけで、そこから考察することができる児童は少ない。

本校は市内の中心部にあり、住宅地がほとんどである。そのため、田畑はほとんどなく、子どもたちは農業に触れ合う機会は少なく、農業体験に乏しい。家族が農業に関係した仕事に就いている児童はいない。よって、「米作り」の授業では、農家の苦労や米ができるための工程をなかなか理解することが困難であった。NHK放送教材の「日本とことん見聞録」を視聴することにより、「農家の人はたいへんだな」という感想を残し、ある程度米作りに対する理解を深まることができたが、農業に関する諸問題についてはまだまだ関心が弱く、農業の重要性についてはあまり考えが深まっていない傾向が見られる。

・教材観

5年生になって、農業や漁業について学習し、生産量や消費量の変化を学び、たくさんの問題点があるという知識は身についてきている。日本の食料問題については、日々のニュースの中でよく耳にする。中でも、食品の価格高騰は、最も身近で深刻な問題である。「最近、スーパーで野菜の値段が高くなっているよ。」とこの問題について知っている児童は多い。ただ、その理由までは、追究するところまでは至っていない。現在の日本は、食料自給率が40%をわっていることも深刻な問題であり、食料や農業についての理解を深めることは重要である。

・指導観

本単元では、日本の食料自給率は今後どのように変わっていくかを話し合うことを中心課題に設定する。年々低下している食料自給率と諸先進国より低い食料自給率を学び、日本の食料事情は危機的状況にあることに気づかせ、今後どのように変わっていくかを考えさせる。自分の考えに明確な理由がつけられるように教科書や資料集をもとに調べ学習を行う。また、多面的に調べられるように、農家の方に協力してもらったり、気軽にコンピュータで調べたりできるように環境を整えておく。話し合いの中では、適切な資料を提示したり、読み取った資料から自分の考えを明確にしたりすることに重点を置き、日本の農業にはさまざまな問題があることに気づかせたい。その後、現在の日本の農業の問題点について個人テーマを設け、調べ学習を行う。調べたことを発表し、友達の考えを聞くことで、農業によりいっそう関心をもち、食料を大切にしようとする態度を育てたい。

調べ学習の段階では、消費者の観点、生産者の観点に立って知識を深めることが大切である。そこで、実際に農業従事者や家庭での取材を多く取り入れ、農業問題をより深く追求させたい。調べ学習の過程を重視し、個々の進捗や学びのようすをしっかりと把握し、個に応じた適切な支援をしていきたい。その際に、調べたことに対して、自分の考えを明確に述べるできるようにさせたい。デジタルコンテンツや放送教材を多く取り入れることで、視覚的に農業問題への理解を深めていくようにする。発表する際には、グラフや表などを電子情報ボードで図示し、分かりやすく伝えることを重視したい。

(2) 単元の構想 (12時間完了)

【教師支援】

※1: この問題について知らない児童も多いので、実際にスーパーマーケットへ出かけ、値上がりの様子を理解できるようにする。

※2: 身近な問題を取り上げることで、共通の課題をもち、農業へ目を向けるようにする。

※3: 主な先進国の食料自給率のグラフを見せることで、日本の抱える深刻な食料問題を考えられるようにする。

※4: 農業経験の少ない児童が多いので、教科書や資料集を基本にし、聞き取り調査を行うなどくわしく調べるように助言する。

※5: 調べ学習を円滑に行いやすいように、コンピュータ室を放課でも利用できるようにする。

※6: NHK 放送教材「日本とことん見聞録」を視聴し、日本の農業の現状を視覚的に伝え、問題意識を高めるようにする。

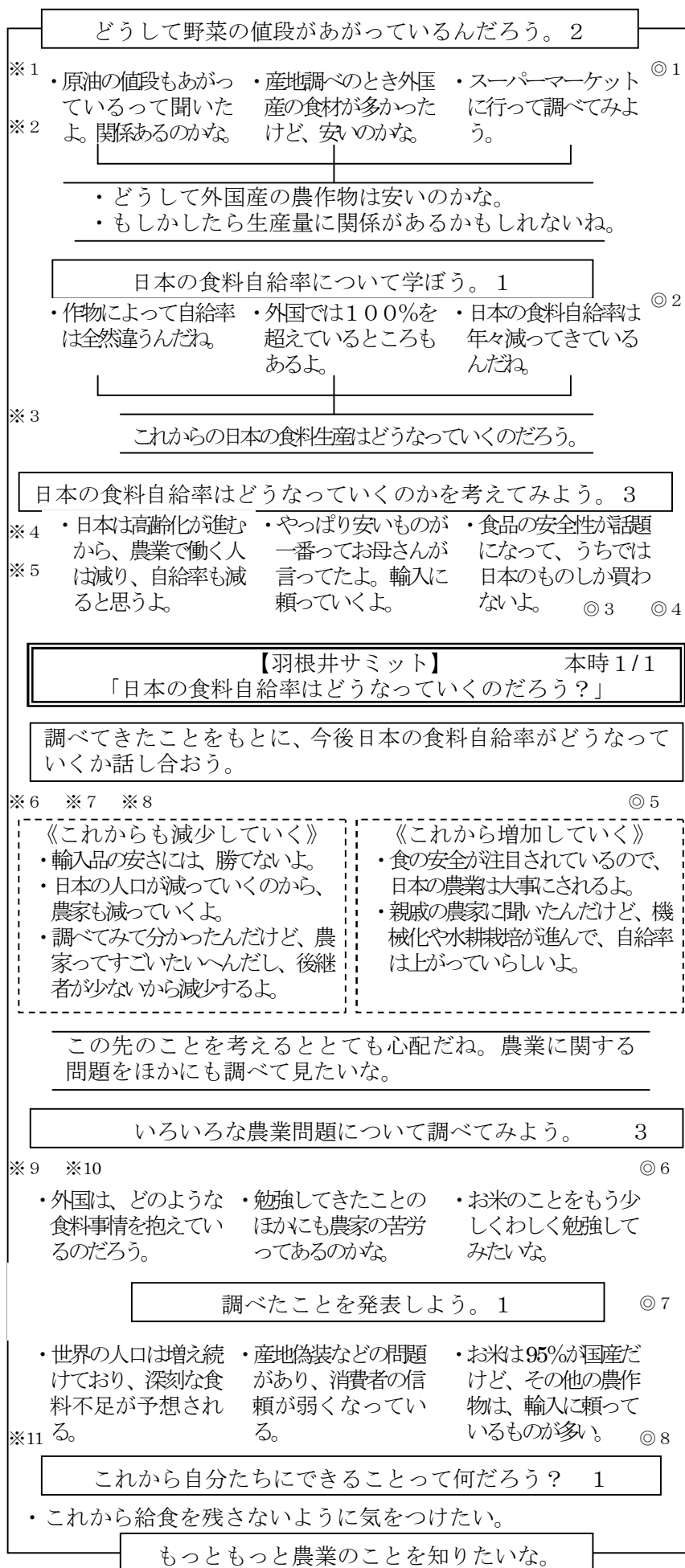
※7: 話し合いの中で、難しいことばや農業の変化の様子が出たときは、みんなが理解できるように電子情報ボードに資料を提示する。

※8: 農業従事者の話を聞くことで、今まで農業経験がない児童たちに農業問題への関心を高めるようにする。

※9: テーマが決まらない児童には、教師があらかじめ用意しておいたテーマから選択できるようにする。

※10: お米をテーマにして学習している児童には、NHK 放送教材「おこめ」を視聴させ、調べ学習の理解を深める。

※11: 調べたことを分かりやすく伝えるために、資料を電子情報ボードに示しながら、発表する。



【評価】

◎1: 野菜の値上がりの原因を考えることで、農業の抱える諸問題について関心をもって話し合いに参加する。(①発言・ノート)

◎2: 日本の食料自給率が年々低下していることとアメリカやフランスなどに比べて非常に少ないことを理解することができる。(④活動・ノート)

◎3: 我が国の食料自給率について、適切な資料や情報から読み取った事実について自分なりの考えをもつことができたか。(②ノート)

◎4: 自分の考えの根拠となる資料を集めたり、作ったりすることができる。(②資料)

◎5: 我が国の食料生産の問題を自分とは異なる考えに対して反論したり、それらを自分の考えとして取り込んだりして、多面的に考えることができたか。(②発言・ノート)

◎6: 興味をもってテーマを選ぶことができたか。(①ノート)

◎7: 調べて分かったことや自分が考えたことを分かりやすく伝えることができたか。(③発表)

◎8: 友達の発表を聞き、農業に対する諸問題について理解を深めることができたか。(④ノート)

5 本時の授業

本時の授業では、今まで学習してきた農業問題にはどのようなものがあったかを思い出させるところから始める。そして中心課題である『今後、日本の食料自給率はどのようになってか』というテーマについて、「これから減少していく」、「これからは以前のように戻っていく」の2点にしばり、相互指名の討論形式で話し合う。答えのないテーマで、農業体験の少ない本校の児童は、感覚や想像だけで話し合いが進むことになりかねない。そこで、前時までに一人調べを徹底させておき、発言の際にその資料を提示できるようにしておく。資料は、電子情報ボードに映し出し、視覚的に発言の論理を立証させられるようにする。また、調べたことを述べるだけでなく、それについて自分の考えを付随して述べられるように助言していきたい。また、発言の内容によっては、デジタルコンテンツで映像を視聴させることにより、発言の根拠を明確にし、より深い内容で話し合えるように支援していきたい。

最後に、農業従事者の松井さんの話を聞き、本日話し合った内容について、農家の立場としての意見を聞くことで、よりいっそう農業への関心を高めるようにし、さまざまな農業問題について調べていこうとする姿勢に期待したい。

(1) 目標

- 友達と意見交流する中で、さまざまな要因で現在日本の食料自給率が低下している現状に気づき、農家の話をきくことで、農業によりいっそう関心を高めることができる。

(社会的事象への関心・意欲・態度)

- これからの日本の食料自給率がどのようになっていくかを調べてきた資料をもとに考えを述べることを。

(観察・資料活用の技能・表現)

(2) 展開 (※：教師支援 ◎：B評価基準)

※ NHK デジタルコンテンツを視聴し、日本の農業の現状を視覚的に伝え、全員が本日の課題を明確にできるようにする。

※ 話し合いの中で、難しいことばや農業の変化の様子が出たときは、みんなが理解できるように電子情報ボードに資料を提示する。

※ 農家の方の話を聞くことで、農業問題への関心を高め、今後の農業問題に対し、さらに追究していこうとする気持ちを高める。

羽根井サミットを開こう

- ・ 今まで勉強してきたけど農業にはいろいろな問題があるんだね。

日本の食料自給率は今後どうなっていくのだろう？

《これから減少していく》

- ・ 輸入品の安さには、勝てないよ。うちも値段を見て買うようにしてるみたいだね。

- ・ 日本の人口が減っていくのから、農家も減っていくよ。

- ・ 調べてみて分かったんだけど、農家ってすごいたいへんだし、後継者が少ないから減少するよ。

《これから増加していく》

- ・ 食の安全が注目されているので、日本の農業は大事にされるよ。

- ・ 親戚の農家に聞いたんだけど、機械化や便利な栽培方法が進んで、生産量は上がっていらしいよ。

- ・ 世界の人口ってすごい勢いで増えているんだよ。そうすると食料が世界中からなくなって、しまうからみんな農業をやるよ。

農家の方に意見を聞いてみたいな。

- ・ 食べ物こそまづにしていけないと改めて感じたよ。
- ・ このことって深刻な問題なんだね。小学生でも真剣に考えないといけないね。

今日の授業を振り返ってみよう。

- ・ 自給率を上げていくことは大切なんだねけど、難しい問題がたくさんあるんだね。
- ・ もっともっと農業についてくわしく勉強したいな。

◎：資料を提示しながら、日本の食料自給率が今後どのようになっていくか聞いている人に分かりやすく伝えることができたか。(観察・資料活用の技能・表現)

◎：我が国の食糧生産の問題を自分とは異なる考えに対して反論したり、それらを自分の考えとして取り込んでいること、多面的に考えることができたか。(社会的な思考・判断)

(3) 評価

友達の意見や農家の方の話を聞く中で、今後の日本の食料自給率について自分なりの考えをもち、農業問題についてこれからの関心をもって調べていこうとする気持ちになったか。(ノート)